
はじめに

柳田 絵美衣

(慶應義塾大学病院臨床検査科ゲノム検査室／慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット)

「プレジジョンメディシン」とは、患者1人1人に合わせた治療を行う“オーダーメイド”的な医療を指します。わが国でも、がん領域におけるプレジジョン・メディシンである「がんゲノム医療」が始まりました。オーダーメイドの服を作るときの道具としてメジャーを欠かすことができないように、がんゲノム医療では“がんゲノム(遺伝子)検査”を欠かすことができません。

がんゲノム検査は、その患者に効果が期待できる薬剤や、エンタリー可能な治験情報を探し出し提供することを目的とします。そして、その検査結果はがん患者にとって未来をつなぐ重要な情報であるため、われわれ医療従事者は正しい情報と知識をもち、患者に正確に伝え、医療を提供しなくてはなりません。

しかし、がんゲノム分野には、研究者向きの難しい専門書こそあれど、臨床的な入門書はなかなかみられません。私は、がんゲノムにかかわる仕事のなかで、各専門家から知識と情報を得てきましたが、理解するまでに多くの時間を要し、本当に苦労しました。

そこで、がんゲノム医療が国内の臨床現場で始まったことをきっかけに、がんゲノム医療に特化した初学者向けセミナーを開催してきました。そのなかで多くいただいたご質問が、「オススの本は？」というものです。当時は、お勧めしやすい書籍もなかったことから、「それならば、自分たちで作ろう！」と思い立ち、本誌で「知っておきたいがんゲノム医療用語集」(63巻8号)を特集させていただきました。本号は非常に好評で、すぐに品薄になってしまい、手に入らないとの声も多くいただいたほどでした。

* * *

今回は、より多くの方々にパワーアップした企画をお届けするため、さらに解説用語を増やし、フルカラーでリニューアルを図りました。がんゲノム医療に携わる医療従事者はもちろん、これから学びを始める方々にとっても役立つよう、初めて目にする用語でも理解しやすい記述を心掛けています。

また、本書は、がんゲノム医療を「場面」ごとに切り取って、関係する用語を解説しています。特に6～9章は新しいがんゲノム医療という分野に求められる重要な用語を多く含んでいますので、ぜひご一読ください。

本書を通じて、がんゲノム医療についてより深く知識や情報を深めていただき、明日からの業務に役立てただけことを願っています。
